

私たちは、「夢のあるたくましい会社」を目指し、健康な生活づくりに貢献します

当社の現況と今後の展望

フジ日本精糖株式会社
2018年6月20日

新しい体制と戦略について

1. 「櫻田誠司新社長」体制の発足（2018年6月）



代表取締役会長(前代表取締役社長)

船越 義和

代表取締役社長（前取締役専務執行役員）

櫻田 誠司

経営方針

私たちは、「夢のあるたくましい会社」を目指し、
健康な生活づくりに貢献します。

経営方針

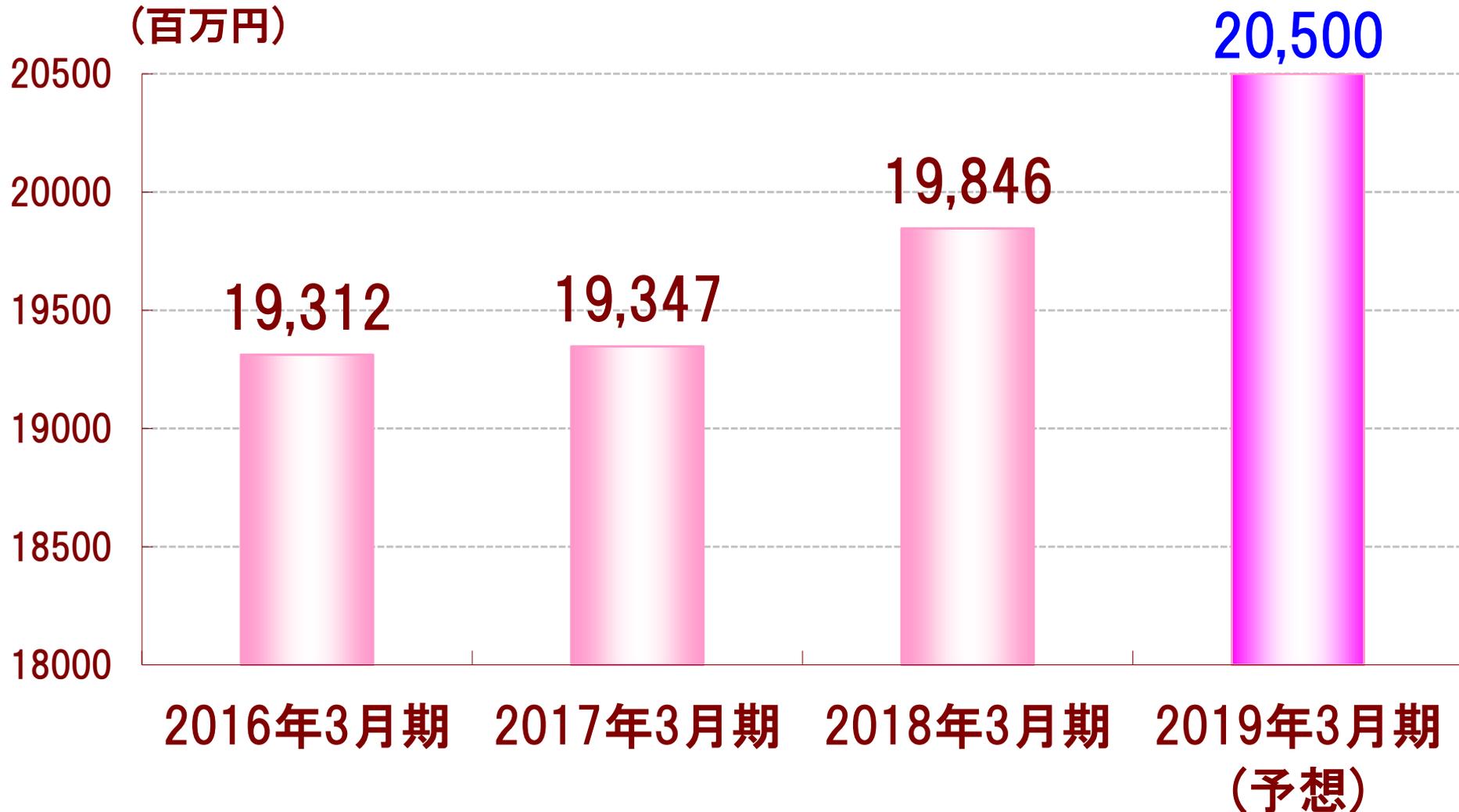
- 1.顧客第一主義の徹底
- 2.会社の発展と共に社員が成長する企業文化の形成
- 3.公正で透明性のある企業活動の推進
- 4.社会に評価される企業価値の向上
- 5.社会に貢献する企業市民活動の充実

2019年3月期決算の見通し

過去3カ年実績と2019年3月期見通し

【売上】

(百万円)



過去3カ年実績と2019年3月期見通し

(百万円)

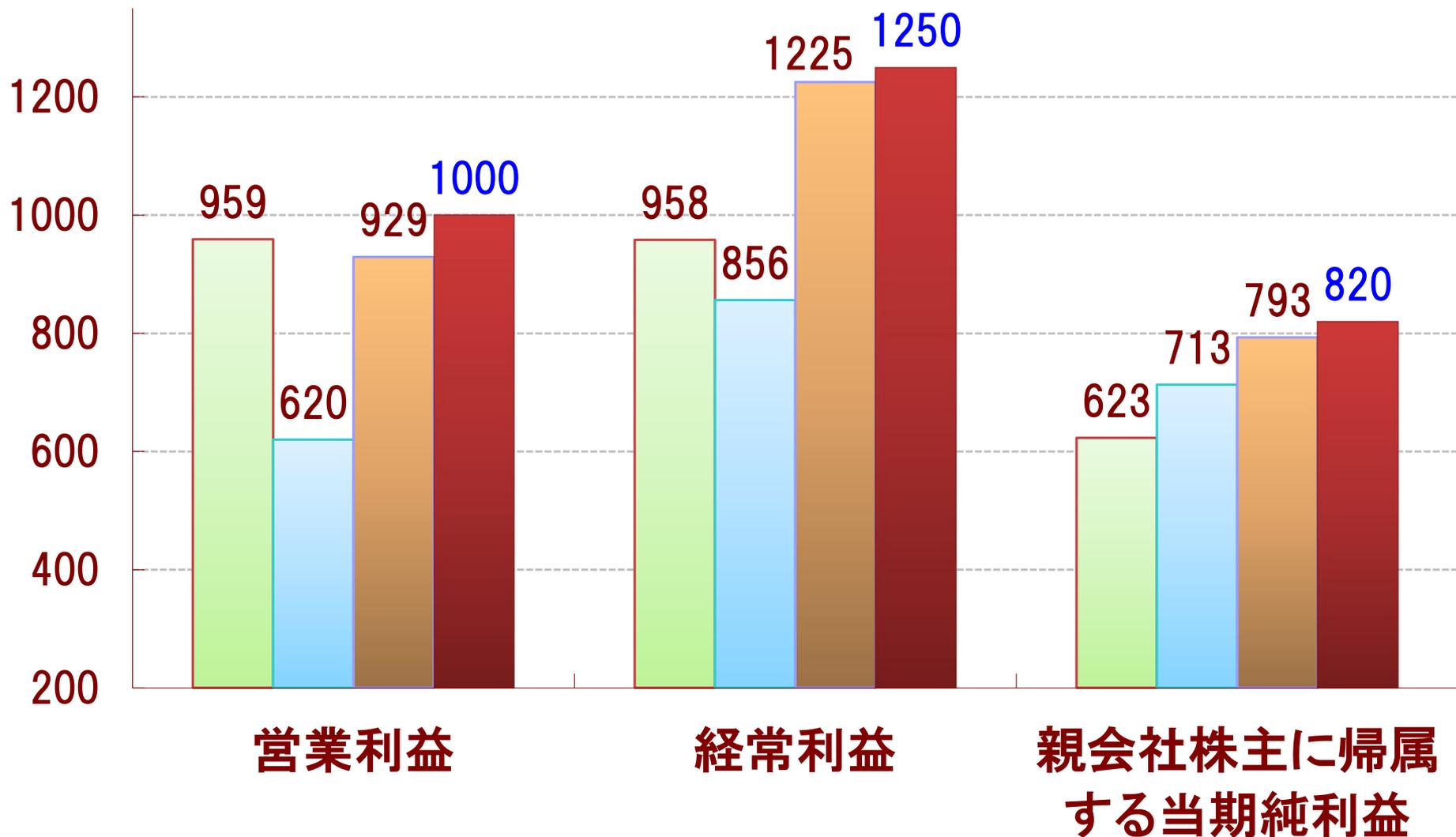
【利益】

2016/3

2018/3

2017/3

2019/3(予想)

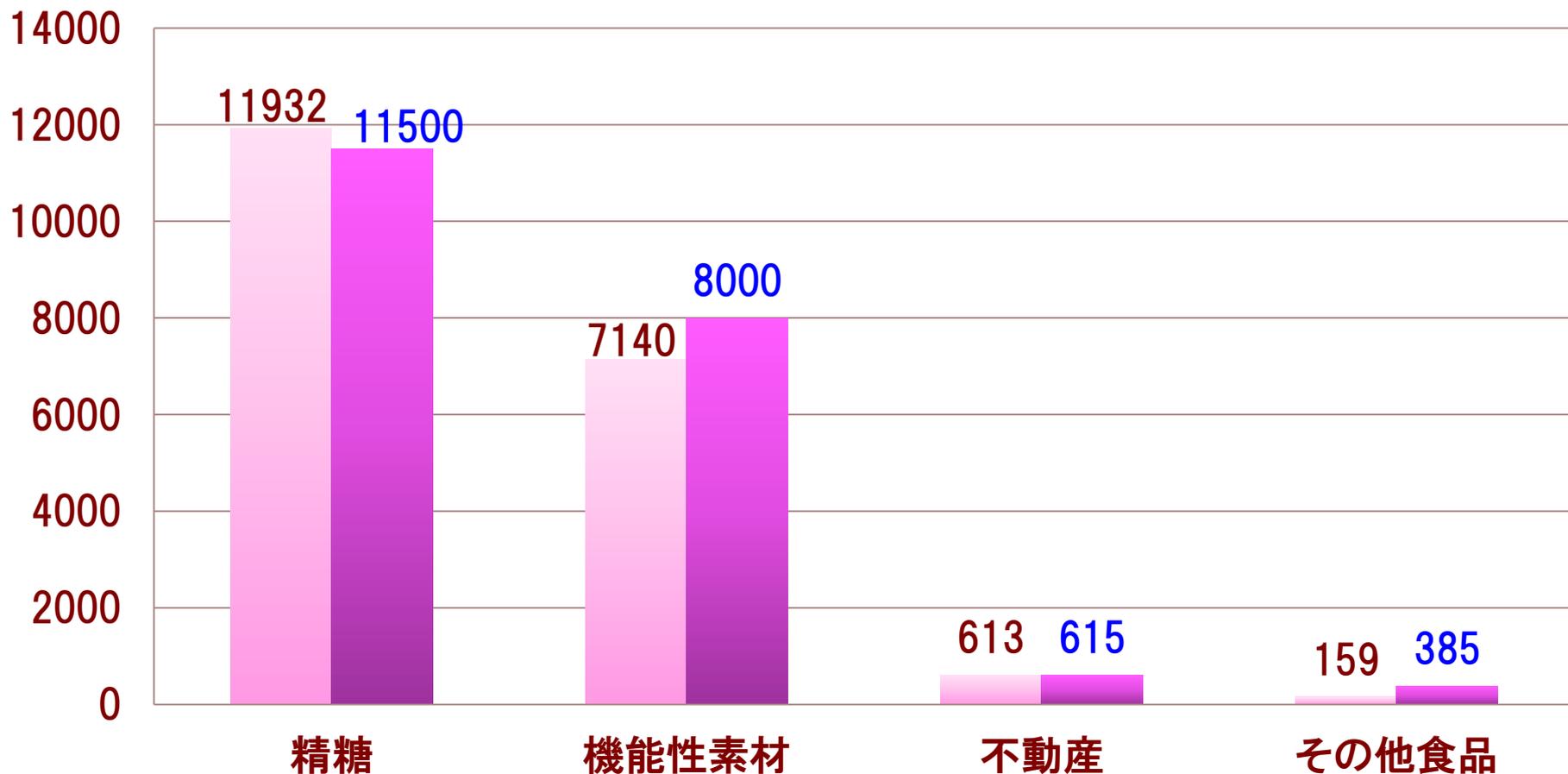


2019年3月期(96期)見通し(セグメント別売上高)

売上高

(百万円)

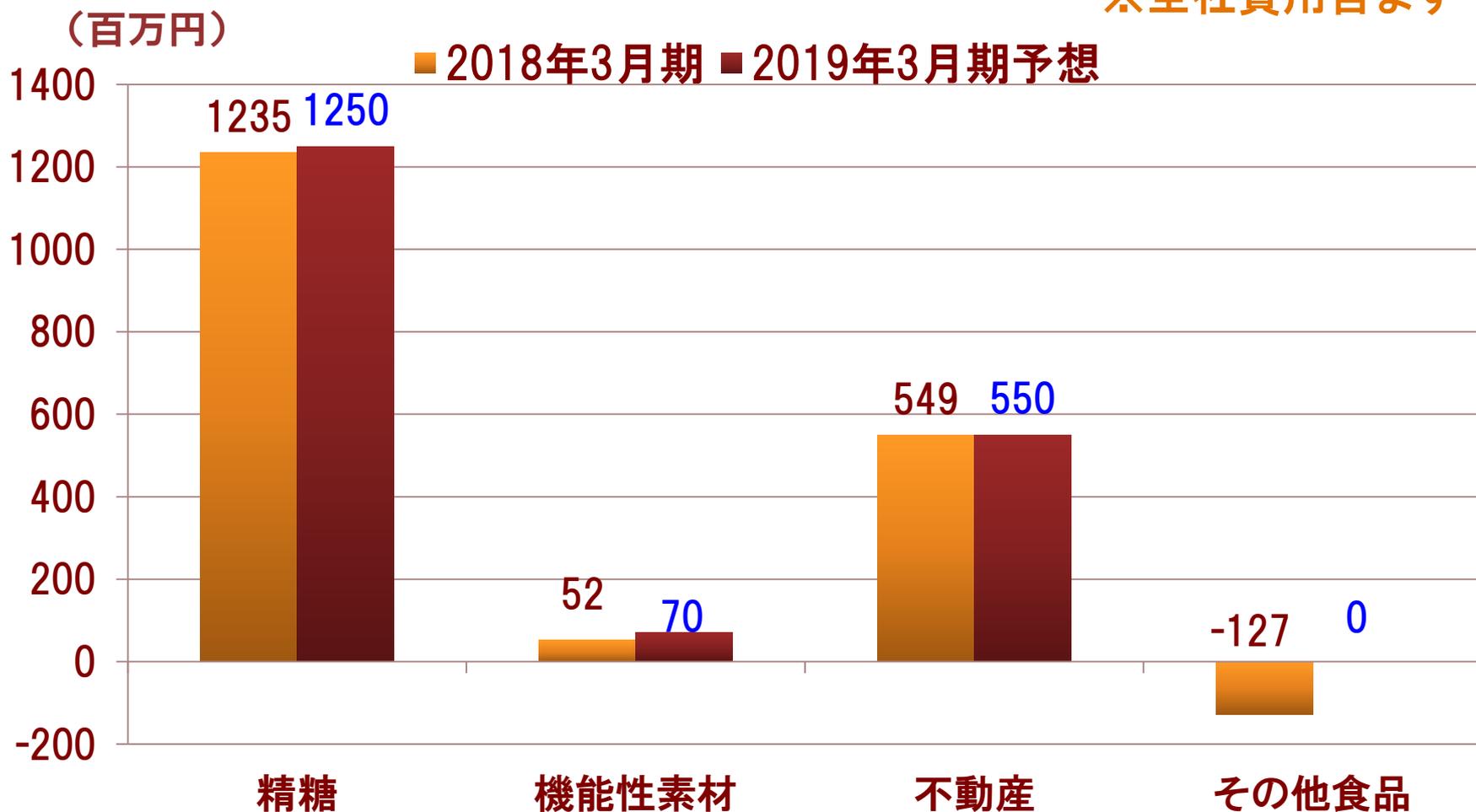
■ 2018年3月期 ■ 2019年3月期予想



2019年3月期(96期)見通し(セグメント別営業利益)

営業利益

※全社費用含まず



中期経営計画の最終年度

(2017年3月期～2019年3月期)

中期経営計画

成長を目指した基盤固めと新規事業の更なる育成



基本 戦術

ベース事業を
確実に維持

機能性素材事業の
更なる育成

次世代につながる新たな
ビジネスの開拓

精糖事業

(単位:百万円)

	2017/3	2018/3	2019/3
売上高	12,255	11,932	11,500
営業利益 ※全社費用含まず	1,156	1,235	1,250

環境変化と課題

- ・止まらない砂糖消費の減少傾向
- ・更なる合理化・効率化に対する投資の必要性



精糖事業

課題の解決策

- ・ 顧客第一主義で商権の維持を図る
- ・ 液糖生産の太平洋製糖株式会社への集中化
- ・ 在庫管理の徹底、小袋マークの統一

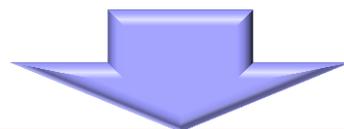
機能性素材事業

(単位:百万円)

	2017/3	2018/3	2019/3
売上高	6,377	7,140	8,000
営業利益 ※全社費用含まず	▲189	52	70

環境変化と課題

- ・ イヌリン増産と販売拡大に向けての各種の許認可
- ・ 食品素材、添加物市場における競争の激化



機能性素材事業

課題の解決策

- ・ 国内イヌリンの販売
 - ・ 機能性表示を活用した拡販戦略、アプリケーション機能・機能性エビデンスの充実、要員増による営業力の強化
- ・ タイ国、東南アジアでの販売拡大
 - ・ インドネシア「FI-Asia2018」(国際食品素材/添加物展) 出展
 - ・ 米国Self-GRAS(米国での安全性における許認可)の取得
- ・ ユニテックフーズの販売
 - ・ 食品素材の新たな用途開発や提案
 - ・ 品質改良剤の販売を拡充

イヌリンの「機能性表示」に関するトピックス

「イヌリン」の新たな機能性表示が受理されました



「イヌリン」の新たな機能性表示が受理されました

機能性表示の受理

◇受理済み : 整腸作用

◇新規受理 : 血中中性脂肪を下げる

: 食後の血糖値の上昇をゆるやかにする

受付番号 .. C240

商品名 .. イヌリンバランス

機能性関与成分 .. イヌリン

表示しようとする機能

本品にはイヌリンが含まれています。

イヌリンは血中中性脂肪を下げることで報告されています。また、イヌリンは食後の血糖値の上昇をゆるやかにすることが報告されています。

その他食品事業

(単位:百万円)

	2017/3	2018/3	2019/3
売上高	116	159	385
営業利益 ※全社費用含まず	▲117	▲127	0

環境変化と課題

- ・タイ国製パン事業の操業立ち上げの遅れによる本格生産・販売開始の遅れ



その他食品事業

課題の解決策

- 新製品の開発・投入
- 新規設備導入による増産体制の構築
- 新規量販店への販売
- 近隣諸国への輸出

不動産事業

(単位:百万円)

	2017/3	2018/3	2019/3
売上高	598	613	615
営業利益 ※全社費用含まず	535	549	550

安定収益の確保、安全かつ安定した運用を図る
→ **本社ビル(東京都中央区)や、その他資産の有効活用等**

新規事業【事業の多角化】

**日本や海外での新たな事業・商材を
発掘し、更なる事業の多角化を
進め、会社の成長、発展を目指す**

中期経営計画

単位:百万円

	2017年 3月期 (実績)	2018年 3月期 (実績)	2019年 3月期	
			前期修正	今期修正後
売上高	19,347	19,846	20,500	20,500
営業利益	620	929	950	1,000
経常利益	856	1,225	1,100	1,250
親会社株主に帰 属する 当期純利益	713	793	700	820
ROE(%)	4.5	4.8	4.3	4.8

株主還元策について

安定的な配当実施と株主優待による株主還元策

	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期(予想)
配当額	9円	11円	11円	11円
(普通配当)	(9円)	(10円)	(11円)	(11円)
(記念配当)		(1円)		
配当性向	38.7%	41.4%	37.2%	36.0%

株主優待制度の継続

対象: 3月31日現在 1単元(100株)以上保有株主

内容: 自社製品の提供

・100～999株: 1,000円相当

【上白糖・グラニュー糖・三温糖・キープフラワー】

・1,000株以上: 3,000円相当

【上白糖・グラニュー糖・三温糖・キープフラワー・
イヌリンバランス・和彩糖】

【注意事項】

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しや目標数値については、本資料の作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、その達成や実現を保証したり、確約するものではありません。実際の業績は外部環境や内部環境、その他様々な要因によって本資料の見通しや目標数値と異なることがあります。

また、掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報に関しましては、今後予告なく変更することもありますので、予めご了承ください。